



その①報恩教育『生きる姿勢を育む』

毎月1回行われる『月始参詣(がしさんけい)』

1か月の無事と健やかな成長を願い、月ごとのテーマに沿って仏様のお話を聴きます。
光薫寺保育園が最も大切にしている心の教育です。

仏様は、全ての人に仏さまと同じ慈しみの心が備わっている(仏性)

全てのことには意味がある(因果応報)

と教えられています。

子ども達の仏性を育み、目には見えない大切なものに支えられて生きているということを知り、より良い行動を考える。感謝の心と生きる力の基礎を育む時間です。

3・4・5歳児さんは、全員参詣します。
0・1・2歳児さんは、数名の代表参詣から始め、
1年を通して全員での参詣に進めていきます。
唱和は、あっという間に覚えて、自信たっぷりお唱
えしています。
子ども達の唱和に、力が湧いてきます！



画像

スクリーンを使つての
紙芝居法話。
3・4・5歳児さん、
真剣に聴いています。
0・1・2歳児さんも、興
味津々で、お話を感じ
取っています。

心と脳のお話

心の働きは、脳で行われています。
脳は、9歳頃までに生きる力の基礎(気力・体
力・感性)をつかさどる「古い脳」ができ、
10歳頃から記憶や思考、情感をつかさどる「新
しい脳」が発達し、最後に適切なコミュニケー
ションに欠かせない「前頭葉」が育つという順番
があります。

0から9歳の脳と心の発達

3歳頃までは感性が育つ時期です。優しい、嬉
しい、美しい、きれいなものにたくさん触れること
で、そういった事を喜ぶ、楽しむ、感じる心が育
ちます。

4歳頃からは物事の善悪を取り込む時期。
この時期に学んだ善悪は生涯にわたって心の
土台となります。

夜更かし生活で古い脳を育てないまま、塾や習
い事などで、新しい脳ばかりを育て過ぎると心
の成長バランスが崩れてしまうそうです。

乳幼児期は、子どもの脳育ての根幹である

- 早寝早起き朝ごはん
- 感謝の心(感性)
- 自分も周りも大切にできる心(善悪)

を育むことが、豊かな生き方に繋がります。

参考) 「ヒトの教育学」井口潔

光薫寺保育園 本堂参詣テーマ

- | | |
|----------|-----------------|
| 4月【進級】 | 出会い(縁)を大切に |
| 5月【母の日】 | 産まれてきたことに感謝 |
| 6月【父の日】 | 家族の一員であること |
| 7月【仲間】 | 一緒に頑張れる仲間とは |
| 8月【お盆】 | 先人への感謝 物を大切に |
| 9月【敬老の日】 | 年長者への敬意 |
| 10月【運動会】 | 力を合わせて 本当の勝利 |
| 11月【七五三】 | おおきくなりました(食育) |
| 12月【年末】 | 今年のありがとう・ごめんなさい |
| 1月【新年】 | 目標をたてよう |
| 2月【節分】 | 心の鬼を追い払おう |
| 3月【修了】 | 成長した自分を見つけよう |

月ごとに、テーマに沿った目標を実践し、
子ども達の心を育みます。

